



2025年5月30日

各位

会社名 株式会社アサカ理研  
代表者名 代表取締役社長 山田 浩太  
(コード番号：5724)  
問合せ先 上席執行役員 巨海 隆  
管理本部長  
TEL. 024-944-4744(代)

### 新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、研究開発および設備投資を進めているリチウムイオン電池（以下 LiB：Lithium-ion Battery）再生事業の開始について、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 事業開始の趣旨

当社グループは、「豊かな創造性を発揮し、社会貢献を果たす」を社是として掲げ、持続可能な循環型社会の実現を目指しております。創業以来50余年にわたり、金などの貴金属や銅のリサイクルを通じて資源の有効活用と環境保全に貢献する企業として、事業展開をしてまいりました。近年においてはレアメタル資源に注目し、貴金属のリサイクルで培ったノウハウを活かし、電気自動車(EV)のLiBからレアメタルを回収・再生する研究開発に取り組んでいます。

レアメタルは自動車産業や半導体産業などの成長産業の最先端部品に多く使用されているほか、脱炭素社会の実現に欠かせないものであり、今後も世界的に需要の拡大が見込まれています。需要が高まる一方でレアメタル資源の枯渇が懸念されており、特に天然資源に乏しい日本においては、資源の再生・再利用が重大な課題となっています。

今後、レアメタルの需要が高まるにつれて、過度な鉱山開発による環境破壊が進むリスクやリサイクル可能な資源が廃棄処分されるリスクが高まります。当社は本事業を通して、こうした資源を取り巻く課題を解決し、真に持続可能な社会の実現を目指します。

## 2. 新たな事業の概要

### (1) 新たな事業の内容

EV に用いられる車載用 LiB から、レアメタル(リチウム、コバルト、ニッケル、マンガン)を回収し、再びEV の LiB の材料として使用できる品質に再生します。

当面は LiB の生産工程で廃棄される端材からのリサイクルが中心となりますが、将来的には製品寿命を終えた EV の使用済み LiB のリサイクルが増加する見込みです。

### (2) 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

当該事業の生産体制を当社いわき工場に構築するために総額95億円の設備投資を実施いたします。

設備投資の詳細は、同日公表の「工場増設に関するお知らせ（開示事項の変更）」をご参照下さい。

## 3. 日 程

(1) 取締役会決議日	2025年5月30日
(2) 事業開始日	2028年4月(予定)

※事業開始に先立ち当社いわき工場での稼働開始を2026年10月に予定しております。

## 4. 本事業における主要取引先

企業名：プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社(以下、同社)

トヨタ自動車株式会社とパナソニックホールディングス株式会社による車載用角形電池の合弁会社であり2020年に操業開始。

(出資比率 トヨタ自動車株式会社51%、パナソニックホールディングス株式会社49%)

本社：東京都中央区

代表取締役社長：好田 博昭

主な事業内容：車載用角形リチウムイオン電池の開発・製造・販売、その他

当社と同社の間に、資本関係、人的関係、取引関係はなく、関連当事者にも該当いたしません。なお、同社とは2023年に本事業に関わる共同技術開発の締結、ならびに2024年に同社工場廃材のリサイクルの一部を当社に委託することに合意した覚書(MOU)を締結しております。

## 5. 今後の見通し

本件に伴う2025年9月期連結業績予想の変更はございません。本事業は、2028年4月の事業開始以降、継続的かつ安定的に収益を積み上げていくことで、投資回収を2035年ま

でに完了する見込みであります。

(参考) 当期連結業績予想 (2024年11月14日公表分) 及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
当期連結業績予想 (2025年9月期)	9,230百万円	440百万円	290百万円	220百万円
前期連結実績 (2024年9月期)	7,967百万円	293百万円	266百万円	371百万円

以上